



佐渡市

社協だより

第128号

平成29年

9月25日発行



これからの佐渡のために…

赤い羽共同募金運動がはじまります



あの人を、すべての人を、支えたい。

赤い羽根共同募金



編集・発行

社会福祉法人 **佐渡市社会福祉協議会**

佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

ボランちゃ
かわら版
おりこみ

4ページと5ページの間



10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いいたします



私たち社協と共同募金会は、高齢の方や障がいをお持ちの方、子育て中の方など、地域のすべての方々が安心して暮らすことのできるまちづくりを目指しています。その共通の想いの実現のために毎年協力して行っているのが「赤い羽根共同募金活動」です。皆さんからご協力いただく募金は、新潟県共同募金会を通じて佐渡市内の地域福祉活動を行う福祉団体や施設、ボランティアグループに助成され、地域へと還元されていきます。

赤い羽根共同募金は、佐渡の人たちのやさしい気持ちを集める活動です。1本の赤い羽根がきっかけとなって、佐渡がもっともっとあったかいまちになりますように…。

検索 **はねっと**

☆募金がどのように使われているか、インターネットで見ることができます。



期間中、さまざまな方法で募金活動が行われます

自治会等のご協力による
戸別募金

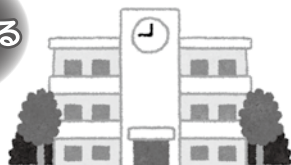


街角や人の集まる
場所での街頭募金

協力店による
募金箱の設置



保育園や幼稚園、
各学校のご協力による
学校募金



企業や法人の
ご賛同による
法人募金

Pick Up1

岩谷口地区 収穫文化祭での募金活動

平成27年から岩谷口収穫文化祭で募金箱を設置しています。共同募金の助成を活用し、毎月地域の茶の間を開催しています。茶の間には地域の大勢の方々が集まり、集落行事のひとつになっています。

収穫文化祭には毎年、集落内外から多くの方が参加くださる



ことから、少しでも募金に貢献できればという思いを込め募金箱の設置を始めました。

今年も10月下旬に収穫文化祭を開催します。みなさん、是非いらしてください!

Pick Up2

赤い羽根共同募金
シンボルキャラクター



愛ちゃんと希望くん
コラボグッズ



刺し子
コースター

パン

歳末たすけあい事業のお知らせ

歳末たすけあい事業は、高齢者や障がい者等の方が気持ちよく新年を迎えられるよう、市民の皆さまから寄せられた共同募金を財源として社会福祉協議会が実施します。詳しくは、お近くの社協各支所または地域センターにお問い合わせください。

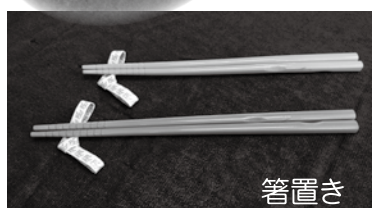
利用できる方	利用できるサービス
①80歳以上の一人暮らし高齢者および高齢者のみの世帯 ②80歳以上の高齢者と介助を要する同居の親族のみの世帯 (80歳以上…昭和12年4月1日以前に生まれた方) ③療育手帳A・B所持者 ④身体障害者手帳「視覚障害」1種(1～4級)所持者 ⑤身体障害者手帳「聴覚障害」1種(2～3級)所持者 ⑥精神障害者保健福祉手帳所持者 ⑦要介護4・5の認定者 ⑧身体障害者手帳「上下肢不自由1級」所持者	障子の張り替え 鏡餅・年越しそばセットの配付 おせち料理の配付 神棚・仏壇・家の中の清掃 出張理容サービス(「利用できる方」の⑦・⑧の方が対象となります。)
⑨ひとり親世帯(H29.4.1現在、中学生以下のお子様を養育している世帯)	図書カードの配付

企業や団体、
官公庁の職員のご協力による
職域募金



イベント募金

★写真の商品はこれまでに製作されたものです。今年も10月3日の佐渡市社会福祉大会に向けてパンなどの商品を準備していますので、お楽しみに！



箸置き

佐渡市共同募金委員会

新潟県共同募金会

70%

佐渡市内の地域福祉活動を行う団体や施設、ボランティアグループへ

27%

新潟県内の福祉施設や団体へ

3%

災害等準備金



「災害等準備金」ってなあに？

平成7年に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに、災害時に支援・救護活動を行うボランティア団体やNPOグループに対する支援資金が必要であることから創設されました。災害発生後すぐに災害支援を行えるようにするため、平時から共同募金の3%を積み立てておくという仕組みです。

県内で災害が発生した場合に備えるものではありませんが、被災県の災害等準備金が不足した際には全国の各都道府県の共同募金会が保有する準備金を拠出することができるので、共同募金は災害時におけるたすけあいの取り組みにもつながっています。



どんどん★ボランチャ

いきいき活動するボランティアさん=ボランチャをどんどん紹介するコーナーです。

ボランチャとは…

ボランはボランティアとサッカーのつなぎ役であるボランチから、チャは沖縄で〇〇の人という意味のちゅを佐渡らしくもじりました。島内のボランティアさんのお名前として考えました。

おもしろそうがボランティアに

本間 満(相川)

退職して、空き時間が増えた頃、おもしろそうだなと思い、社協相川支所開催の男のクッキングスクールに参加したのがきっかけです。

現在は、相川の高千と外海府地区で片道10kmかけて配食サービスのボランティアをしています。

正直、最初は面倒だな・・・と思っていましたが、回数を重ねるにつれて、利用者さんの生活リズムの一部になっていること、元気を与えるひとつになっていることなどを実感し、今ではやりがいを持ってやっています。

老人クラブでのイベントボランティア、市民後見人養成講座の受講や、佐渡相川ふれあいガイド、ジオパークガイドなど色々なことにも挑戦しています。



出張!!

ステーション
インフォメーション



佐渡の各ボランティアステーションの情報をお届けします

地域の力で

みんなが笑顔に

小木

地域の皆様とデイサービスセンターつくしの利用者様との交流を深める場として開催している「つくしおけさ週間」についてご紹介します。

地域で活躍している延べ 60 名ものボランティアの皆さんよりご協力いただき、8月3日(木)から8月5日(土)までの3日間、あゆす会館のホールを会場に開催しました。

利用者の皆さんと一緒に、地方の歌声にあわせて小木おけさを踊ったり、目隠しをしてスィカヘ向かう子供たちを応援したり……ハラハラドキドキしながらも笑顔溢れる交流の場になりました。

つくしで余興やお手伝いをして下さるボランティアを引続き募集しています。ボランティアを通じて利用者さんと交流してみませんか。



お問い合わせ：小木ボランティアステーション Tel.86-3838

ポランちゃ かわら版

voluncha kavaraban

平成29年9月25日発行

編集・発行

社会福祉法人
佐渡市社会福祉協議会
〒952-0206
佐渡市畑野甲533番地
TEL : 0259-81-1155
FAX : 0259-81-1156



島のボランティアさん インタビュー特集号

全く違うボランティア活動をされて
いる小田さん(左)と椎さん(右)お二人
に、ボランティアへの思いなどをインタ
ビューしました!

CONTENTS

インタビュー

ボランティア求人情報

運転・傾聴ボランティア講座のご報告

誰もが住みよい地域のために…



椎 カヨ子さん

両津地区在住。佐渡市社協が行っている福祉教育事業「出前塾」などで講師として活動。佐渡で唯一の盲導犬「ターニャ」と共に日々生活しています。

小田 純一さん

畑野地区において、サロン等の立ち上げに熱心に取り組んでいます。現在は昼と夜の両方でサロンを実施していて、住民が集える場を設けて活動しています。

◆どんなボランティア活動をしていますか？

小田さん

活動は二つあります。一つは昼間に月一回地域の人たちが集まって、ふれあいサロンというものを実施しています。もう一つは夜のサロンというもので、昼間だと男性の集まりが悪いので、夜にお酒でもたしなみながら話し合おうということで今年の2月から始めました。この夜のサロンも月1回おこなっています。議員として活動していたこともあって、知り合いに「いままで地域にずいぶんお世話になってたし、恩返しでなんかやったらどうだ。」という風にいわれ、それもそうだなと思い、集落の民生委員とJA女性部の方と相談して平成25年7月に第一回のサロンを三宮に立ち上げました。

椎さん

小学校やボランティアスクールなどで、盲導犬の理解を深めてもらうことや、視覚障がいを持つ方への声のかけ方や手引きの仕方などを教えています。視覚障がいのことを理解してもらうことを一番に活動しています。

◆活動を通して得られたものはありますか？

小田さん

サロンの開催にあたってスタッフの女性と毎回準備をしていますが、続けていくなかで信頼関係が築けて打合せなくてもうまく回っています。そういったところで、人間的に信頼できる仲間ができました。また、今回椎さんともお会いして自分なんかより素晴らしい活動をしている人達とも出会うきっかけにもなりました。善意を持って活動している方も沢山いて、佐渡も捨てたもんじゃないと思いました。

椎さん

講義などをする中で、それを理解してもらえて、道などで声掛けして下さること。ただ、皆さんまだ盲導犬に対しての知識が足りないこともあったりするので、やっぱり「ああそれはやめて。」っていう場面も多いです。そういったことをボランティアをする中で話すことができる、改めて盲導犬などへの理解を深めてもらえるのでありがたいと思っています。



◆ボランティアを通じて、住みよい地域づくりを目指すうえで、今後していきたいこと、周りに呼び掛けていきたいことはありますか？

小田
さん

今はサロンは月1回だけど、週1回の頻度で開催していきたい。また、頻度を上げることで、もっと幅広く参加者を集めたい。夜のサロンも、時にはゲストを呼んで話を聞きながら実施しているので、地域の問題解決につながってくればいいなあと思っています。また、介護保険制度が変わって、軽度の要支援1・2の人たちが地域に戻されてくる。そうすると三宮という地域にも、そうした人を受けとめる受け皿が必要になってきます。地域の茶の間なりサロンなどが受け皿になれるような、そういう集まりにしていきたいです。三宮にいれば大丈夫だという、そういう地域にしていけたらいいなと思っています。



椎
さん

もっと一般の人と触れ合える場所があったらいいなと思います。そうすれば視覚障がいであったり盲導犬について知ってもらえる機会が増えますし。また、視覚障がい者だけでなくいろんな障がい者がどこへ行くにも一般の方と同じように気楽に楽しめる、そういう地域づくりを目指していきたいです。今は飲食店や宿泊所などに入るとき、盲導犬について確認してから入店したり宿泊したりしているので、そうした部分で確認が必要なく、一般の方と同じように出入りできるようになってほしいです。

盲導犬と過ごして、まだ年数も浅いですけど、それでも声かけしてくれたりする方がいます。交通量が多い道だと判断しづらいですが、そこで声かけして頂けると安心して横断することもできるし、すごく助かります。出かけることで多くの人と接することができるし、いろんなことも学べるし視野が広がります。やっぱり言葉を交わすこと、少しの言葉でも、交わすことでほんとしたものを感じます。なので盲導犬に出会えてよかったと最近しみじみと感じています。いろんな人とのふれあい、世間話をしたりしてふれあうことが一番大切だと思います。

◆最後に、お二人にとってボランティアをするということはどういう意味がありますか？

小田
さん

ボランティアをやろうとしていることを、使命感や義務感などでやろうとすると思ってしまうと思います。その場所その場所で人のつながりができてきて、すごく頑張っている人を見たりします。ボランティアというのは、「お互い様」という輪を広げるしかないと思います。また、楽しくなければ続かないと思いますので、そういう意味で、人のつながりをどんどん大きくしていけることが楽しみです。



三宮サロン発足当時の集合写真(写真左上の端が小田さん)

椎
さん

周りの方に障がいのことと盲導犬のことを知ってもらうことはもちろんですし、私はこの歳までボランティアのことを考えたことがありませんでした。なので講義のお話が来た時に、周りの方に理解してもらうのと共に自分自身が成長していけたらなという思いでやっています。



「出前塾」で講師を務める椎さん

今回のインタビューは佐渡テレビジョン様にご協力いただき実施いたしました。今回のインタビューの内容につきましては、9月25日以降にテレビ放映されますので是非ご覧ください。

ボランティア求人情報

主に下記のボランティアを募集しています。
詳細の情報などはご連絡ください。

移送サービス



単独で移動することが困難な方の病院への通院、入退院等の送迎を行う運転ボランティアです。

配食サービス



一人暮らし高齢者等のご自宅にお弁当をお届けするボランティアです。

ごむしんネット



日常生活のちょっとした困りごとなどをお手伝いするボランティアです。(買い物・ゴミ出しなど)

おはようコール



一人暮らし高齢者等のご自宅へ、定期的な電話による安否確認等を行うボランティアです。

イベント



主に福祉関係のイベントのスタッフとして活動していただくボランティアです。(24時間テレビ募金活動など)

施設



デイサービスなどでの余興や、介助のお手伝いなどをするボランティアです。

ステーション名	電 話	ステーション名	電 話
両津ボランティアステーション	Tel23-5500	真野ボランティアステーション	Tel55-4012
相川ボランティアステーション	Tel74-0055	小木ボランティアステーション	Tel86-3838
佐和田ボランティアステーション	Tel57-8141	羽茂ボランティアステーション	Tel88-3838
金井ボランティアステーション	Tel63-6200	赤泊ボランティアステーション	Tel87-3370
新穂ボランティアステーション	Tel22-3300	佐渡市ボランティアセンター	Tel81-1155
畑野ボランティアステーション	Tel81-1620		

※ボランティアステーションは社協の支所および地域センターに設置されています。地区のボランティア窓口としてご活用ください。

ボランティアに関するお問い合わせは、ボランティアセンターまたは、各ボランティアステーションまでお願いいたします!

ボランティアきっかけづくり講座のご案内

第3回

運転ボランティア養成講座のご案内

日 時 平成29年12月2日(土) 9:30~11:30

会 場 羽茂B&G海洋センター

住所:佐渡市羽茂飯岡195

申込締切 平成29年11月20日(月)



ボランティアきっかけづくり講座として、第2回運転ボランティア養成講座を7月29日に、傾聴ボランティア養成講座を8月5・6日に行いました。運転ボランティア養成講座は、6月10日に行った第1回の講座と合わせて6名の新規ボランティア登録がありました。傾聴ボランティア養成講座も5名の新規ボランティア登録がありました。たくさんのご参加ありがとうございました。

また、第3回運転ボランティア養成講座を上記の日程で開催しますので、ぜひご参加下さい。



ご寄付ありがとうございました

平成29年8月1日～8月31日(受付順)

次の方々より、心あたたまる善意をお寄せいただきました。
お寄せいただいた金品は、地域福祉活動に役立たせていただきます。

《両津支所》

匿名 タオル100枚
匿名 タオル50枚
匿名 調理用手袋5箱
匿名 白タオル19枚
匿名 紙オムツ20枚、尿とりパッド261枚

《畑野支所》

佐渡地区郵便局長夫人会様
タオル115枚、切手13,093円分、使用済み切手1.6キロ
匿名 5,472円

《羽茂支所》

匿名 紙オムツ、紙パンツ、尿とりパッド

い き い き つ う し ん

島内各地で活動している「いきいきサロン」や「地域の茶の間」の皆さんを紹介します。

栗野江サロン(畑野地区)

- ★開催日 毎月第一水曜日
- ★会場 栗野江集落センター
- ★時間 9時30分～11時30分
- ★参加費 100円
- ★活動の様子

今年6月、「地域の中でお互いに顔を
合わす機会が少ない」という声から、住民同士のつながりや支え合いが生まれる“みんなの居場所作り”を



目的に誕生しました。これまで各回20名ほどの参加があり、その3分の1は男性です。毎月の活動内容を参加者が主体となって決めることで、みんなの想いを反映させ、みんなで作り上げる“あったかいサロン”を目指しています。

脳トレや健康体操のほか、作品作りなどを行う場合にお呼びする講師は地元の方なので、気兼ねなく足を運んでください。お待ちしております！

告白～勇気を出して伝えよう～ 24時間チャリティー募金活動を終えて



24HOUR TELEVISION
24時間テレビ 愛は地球を救う
"24 HOUR TELEVISION / LOVE SAVES THE EARTH"

今年も島内各地で24時間チャリティー募金活動が行われました。

集まりました募金額は、**1,015,933円**でした。

中・高校生、専門学校生、職場からの呼びかけで参加した方、地元の個人ボランティアなど**145名**の方からこの募金活動に参加いただきました。たくさんのあたたかいご協力ありがとうございました。



情報掲示板

第14回佐渡市社会福祉大会

テーマ：「自分のために家族のために
～ここからだも元気に生きる～」
日 時：10月3日（火） 13:00～16:00
会 場：アミューズメント佐渡
アトラクション：音楽レクリエーション
記念講演：「適度な不真面目力
～健康でいるための新たな常識～」
講 師：奥村 康 氏
（順天堂大学アトピー疾患研究センター長）
問合せ：81-1155（社会福祉協議会本所）
※どなたでもご参加いただけます。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

新穂・畑野・真野社協まつり

日 時：10月14日（土） 10:00～14:00
会 場：はたの温泉松泉閣
問合せ：81-1620（社会福祉協議会畑野支所）
今年も芸能発表をはじめ、災害支援バザー、子どもたちに人気の体験コーナー、雑貨の販売があります。
また、カレーや焼きそばなどをご用意しますので、お誘い合わせて是非ご来場ください。



かない社協まつり

日 時：10月22日（日） 10:00～14:00
会 場：金井コミュニティセンター
問合せ：57-8141（社会福祉協議会佐和田支所）
毎年大盛り上りの福祉バザーを中心に今年も開催します。福祉バザーのほか、防災コーナーや子ども遊びコーナーなど、どなたでも楽しめる内容となっています。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

やすらぎふれあいまつり

日 時：10月28日（土） 9:00～15:00
会 場：赤泊福祉保健センターやすらぎ
問合せ：88-3838（社会福祉協議会羽茂支所）
毎年恒例の赤ちゃんやデイサービスご利用者様の写真展示のほか、デイサービスや地域福祉事業の紹介コーナー、バルーンアートづくりも予定しています。ぜひお誘い合わせてお立ち寄りください。

在宅介護者リフレッシュ事業

日 時：11月1日（水）
場 所：サンライズ城ヶ浜
問合せ：74-0055（社会福祉協議会相川支所）
在宅で介護されている方を対象に芸能鑑賞や交流で日頃の疲れを癒やすお手伝いをします。ぜひお申込ください。

10月開催 心配ごと相談

生活をしていく上での様々な心配ごとや困りごとを気軽に相談できる窓口、「心配ごと相談」を開催しています。
お住まいの地区以外での相談もできますので、ぜひご利用ください。秘密は守られます。

地区	相談日	時間	会 場
両 津	7日（土）・23日（月）	13:00～16:00	両津福祉センター しゃくなげ
相 川	10日（火）	9:00～12:00	あいかわ開発総合センター
佐和田	27日（金）		佐渡中央会館
新 穂	5日（木）		新穂行政サービスセンター
小 木	18日（水）	13:30～16:30	小木多目的集会施設 あゆす会館

※相談員が問題の解決に向けた助言や情報提供を行います。
予約の必要はありません。直接、相談日に会場へお越しください。（相談は無料です）

弁護士による 無料法律相談

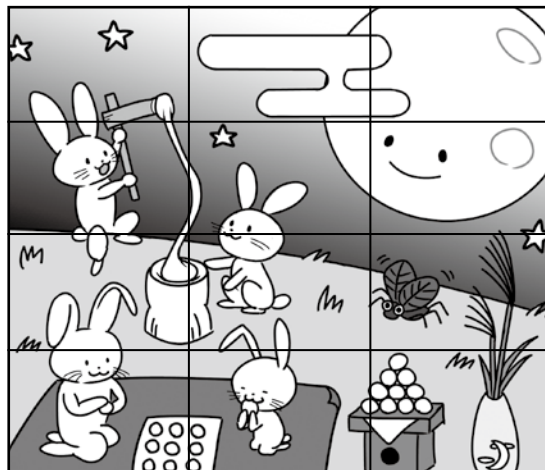
【相川地区】
日 時：10月20日（金） 10:00～15:00
場 所：社会福祉協議会相川支所
予約電話番号：74-0055（社会福祉協議会相川支所）
定 員：8名
※事前に予約が必要ですので、開催日の一週間前までにお電話ください。秘密は守られます。

やってみよう!

脳トレコーナー

みつけて応募!

- 今月は正解者の中から抽選で5名様に、両津地区「チャレンジド立野」様の「番茶ティーバッグ」をプレゼントいたします。社協だよりへのご意見・ご要望などを添えて、どんどんご応募ください!



イラストボランティア 菊池 敏さん (小木)

左右のイラストには、ちがうところが5か所あります。
イラストをよく見くらべて、ちがいのあるエリアを右図に
示したアルファベットでお答えください。

A	B	C
D	E	F
G	H	I
J	K	L

【応募方法】

ハガキに答えと、必要事項をご記入の上、右記宛先までお寄せください。

締切…10月20日(金)必着

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。

なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

〒952-0206	佐渡市畑野甲533番地
佐渡市社会福祉協議会	
社協だより担当者 行	

5つの答え
・住所
・氏名(ふりがな)
・年齢
・電話番号
・社協だよりへのご意見、ご要望など

【前回の答え】

127号のクロスワードパズルの

答えは

「ショウタイジアイ

(招待試合)」でした。

① シ	②A シ	ガ	③ ジ	④ ヨ	⑤ ウ
⑥I イ	ミ		⑦B ヨ	ウ	ガ
ザ		⑧ ト	ウ	カ	E イ
⑨ キ	⑩D タ		⑪ ガ	イ	
	⑫ イ	⑬ ロ	ハ		⑭G ア
⑮C ウ	シ	F ジ	マ	ク	ン

ご応募くださった皆さま、どうもありがとうございました!

★酉年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★

輝く島の
とり年さん



★自薦・他薦を問わず、元気な酉年の方を募集しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありまますので、ご了承くださいませようお願いします。



たかの
高野 フサさん (新穂地区 新穂湯上) 昭和8年生まれ

毎日、朝晩声を上げてお経をあげています。

手芸・絵・押し絵・押し花など趣味も多く、自宅の管理もしているため結構忙しい日々を過ごしています。

愛犬と一緒に散歩し、私の健康に協力してくれています。日々の生活習慣が私の元気の秘訣となっています。



あんど みつぐ
安藤 貢さん (赤泊地区 徳和) 昭和8年生まれ

元気の秘訣は、家にこもることなく普通の生活で出来ることを少しずつ行っていることで、気の向いた時には野菜作りもしています。大事にしていることは何事も無理をしないということです。仲間と春駒をしています。若い方との交流がとても楽しく、練習会を楽しみにしています。公演に向けて今後も頑張ります。



デイから
こんにちは

松ヶ崎デイサービスセンターまつさきの里

佐渡市松ヶ崎1192-1 電話67-2900



まつさきの里からの眺めは絶景です。フロアの窓は一面ガラス張り、目の前に広がる越佐海峡の向こうには、霊峰弥彦山をはじめ、連なる越後の山々が見えます。利用者様は日ごとに変わる景色を眺めつつ、お一人おひとりがご自分のペースで歩行訓練や脳の活性化トレーニングをされながら、

ゆったりとした時間を過ごされています。

住み慣れた地域で、ご自分らしく暮らしていただけるよう、これからも職員全員でサポートしてまいります！



《介護職員初任者研修 受講者12名が修了!》

5月に開講した平成29年度介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)の修了式が、8月6日に羽茂農村環境改善センターで行われました。約3か月間、土日のほとんどを研修に費やして介護の知識や技術を学んできた受講者の皆さん、本当にお疲れ様でした。地域での活躍を期待しています！

